

2021 年度事業報告書

2021 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日まで

公益財団法人 竹中育英会

I. 事業の概要

(1) 【公 1】 教育・研究への助成事業

1) 新奨学生の選考

- ① 新型コロナウイルス感染リスクを鑑み、国内奨学生については対面面接は行わず、奨学生出願者に対して書類選考とオンライン面接による質疑応答を行い、下記の通り新奨学生を決定した。

合格者：大学生 39 名、大学院生 21 名（修士 19 名、博士 2 名）

内定者：海外留学奨学生 4 名

2) 奨学金の給付

- ① 奨学金として大学奨学生 164 名、大学院奨学生 73 名、計 237 名に対し、毎月学校を経由し総額 154,400,000 円を給付した。また海外留学奨学金として 17 名に対し、総額 55,759,000 円を給付した。国内、海外奨学金を合わせて 210,159,000 円を支出した。

3) 奨学生に対する支援

- ① 卒業奨学生歓送会、新奨学生歓迎会、奨学生の集い等の開催、奨学生選考等の諸費用を含め、奨学支援事業費として総額 23,357,508 円を支出した。

4) 学生寮の運営

- ① 東京学生寮に当会奨学生 14 名（2021 年 12 月末現在）が入寮しており、学生寮の規則に従い指導し、学生寮事業費として総額 17,660,076 円を支出した。

5) 助成金の交付

- ① 建築に関する学術研究助成のため、研究課題の募集を日本建築学会に委託したところ、37 件の応募があり、この中から 10 件を研究助成選定委員会にて選定したが、2 件の辞退があり、助成金として 1 件 500,000 円、合計 4,000,000 円を交付した。また、募集審査事務経費他 46,427 円を支出し、合わせて総額 4,046,427 円を支出した。
- ② ハટેイギャップフィールドに対する助成として、学校法人日本豊話学校に 350,000 円、社会福祉法人無憂園に 300,000 円を交付した。その他諸経費を含め総額 650,620 円を支出した。

6) 60 周年記念事業

- ① 60 周年記念誌作成費用として 9,735,879 円を支出した。

(2) 【公 2】 文化及び芸術の振興を目的とする事業の実施及び支援

1) 展示事業の実施

- ① 文化・芸術事業選定委員会により審査・選定された下記 3 テーマの展示事業を行った。事業費として総額 29,594,328 円を支出した。

・『樹の一脚展 一人の営みと森の再生』

・『社会のダイバーシティを考える 立つ、歩く、走る 一義足でこえる心の壁』

・『天平の匠に挑む 古代の知恵 VS 現代の技術』

2) 60 周年記念事業

- ① 『AINO AND ALVAR AALTO Shared Visions アイノとアルヴァー 二人のアアルト フィンランドー建築・デザインの神話』展に特別協力し、10,000,000 円を支出した。

(3) その他

上記以外に、共通公益事業費として総額 50,931,095 円を支出した。